

令和3年度 事業報告書

1. 助成事業

令和3年度の助成事業は、研究費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額2,600万円を実施しました。令和3年度公募の概況は、以下の通りです。

(1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、令和3年3月1日から4月15日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、90件の応募があり、選考委員会において、以下の73件の研究に対して助成を行うことを決定し、2,480万円の助成を実施しました。

- | | |
|---|----------|
| 1 悪性神経膠腫に対する新規遺伝子療法の効果予測因子の解明
岡山大学病院 脳神経外科 医員 大谷 理浩 | 500 千円 |
| 2 口腔癌の細胞外小胞を介したシスプラチン耐性獲得機構の解明
岡山大学病院 口腔外科 医員 小野 喜章 | 300 千円 |
| 3 好中球による酸化ストレスが規定する腎虚血再灌流障害の病態解明
岡山大学病院 泌尿器科 医員 丸山 雄樹 | 300 千円 |
| 4 低酸素誘導因子による組織寛容性導入・維持を用いた移植片対宿主病の新規予防・治療法の開発
岡山大学病院 血液・腫瘍内科 助教 藤原 英晃 | 200 千円 |
| 5 キサンチン酸化酵素阻害薬による抗酸化作用は肝臓・血管系を保護する
岡山大学大学院 保健学研究科 准教授 渡辺 彰吾 | 200 千円 |
| 6 温熱抵抗性に関与する SAFB 顆粒を標的とした新規温熱増感剤の開発
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 渡邊 和則 | 420 千円 |
| 7 免疫機能を内包する人工リンパ節の構築
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 曲 正樹 | 400 千円 |
| 8 がん特異的糖代謝バランスを標的とした新規がん治療法の開発
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 助教 岡田 宣宏 | 400 千円 |
| 9 近赤外吸収を示す含カルバゾールポルフィリン多量体の開発
岡山大学大学院 自然科学研究科 助教 前田 千尋 | 400 千円 |
| 10 ナノ微粒子材料としての各種ベントナイト材料の膨潤特性に及ぼす温度の影響に関する熱力学的研究
岡山大学大学院 自然科学研究科 准教授 佐藤 治夫 | 400 千円 |
| 11 計算機解析と実測との比較による貯水池の地形変化の解析手法実用化研究【特定研究分野 A】
岡山大学大学院 自然科学研究科 講師 神保 秀司 | 630 千円 |
| 12 都市マネジメントを想定した建築景観デザインのあり方に関する研究
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 堀 裕典 | 400 千円 |
| 13 斜面安定性向上のための疎水性鉄鋼水砕スラグの適用性評価
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 金 秉洙 | 400 千円 |
| 14 A L B 計測による3次元河道条件の推定と旭川分流堰周辺の洪水流解析への応用【特定研究分野 A】
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介 | 1,000 千円 |
| 15 免疫賦活作用を有するバクテリオシン産生乳酸菌の同定とその新奇家用生菌剤への応用
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 畑生 俊光 | 400 千円 |
| 16 フラボノイド代謝変換物の同定と生理活性評価
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 助教 中村 俊之 | 420 千円 |

- 17 日本における大統領制化のダイナミクスー安倍政権下の自民党政策会議の分析 [※その他分野]
岡山大学学術研究院 社会文化科学学域 特任助教 朴 志善 200 千円
- 18 食品由来植物ステロールのジオスゲニンによる細胞選択的炎症誘導性脂質メディエーター合成抑制機構の解明
岡山県立大学 保健福祉学部 助教 津嘉山 泉 290 千円
- 19 人とロボットの瞬時接触動作が生み出す身体的インタラクション特性の解析
岡山県立大学 情報工学部 助教 太田 俊介 300 千円
- 20 Just-in-Time Defect Prediction における Cross-Project Defect Prediction の有用性に関する調査
岡山県立大学 情報工学部 准教授 天寄 聡介 250 千円
- 21 不整地における農業用トラクタの挙動解析
岡山県立大学 情報工学部 助教 泉 晋作 250 千円
- 22 機械学習を用いた熱可塑性炭素繊維強化プラスチック溶着接合の強度・品質予測
岡山県立大学 情報工学部 助教 金崎 真人 250 千円
- 23 マスク着用下における様々な条件での歩行が歩容および注意に及ぼす影響
岡山県立大学 情報工学部 准教授 大下 和茂 250 千円
- 24 エリアリノバージョン時代の地域建設業の役割と業態に関する研究
岡山県立大学 デザイン学部 准教授 穂苅 耕介 260 千円
- 25 閑谷学校における環境技術からみる「学びの場」の領域生成について
岡山県立大学 デザイン学部 教授 向山 徹 230 千円
- 26 家庭で発生する食品廃棄物の不可食部による布帛への染色 [※その他分野]
岡山県立大学 デザイン学部 助教 岡本 汐加 200 千円
- 27 銀河中心方向から飛来する軽い暗黒物質検出の理論的研究
岡山理科大学 理学部 講師 長尾 桂子 250 千円
- 28 森林散策と都市散策における尿中タンパク質と脂質の酸化修飾バイオマーカーの比較研究
岡山理科大学 理学部 教授 汪 達紘 250 千円
- 29 原生生物の細胞内共生現象を応用した新規生体触媒の創製と有用物質生産への応用
岡山理科大学 理学部 教授 石原 浩二 350 千円
- 30 環境調和型オレフィン合成を活用した光電変換用色素の創製
岡山理科大学 工学部 教授 折田 明浩 350 千円
- 31 細胞死抑制技術を駆使した高機能立体組織の作製と応用性の検討
岡山理科大学 工学部 准教授 神吉 けいた 350 千円
- 32 イナミンの渡環反応を利用した含窒素パイ共役系化合物の合成ー新奇含窒素ナノグラフェン創出への挑戦ー
岡山理科大学 工学部 講師 奥田 靖浩 300 千円
- 33 アブラボテ属のタナゴ類 2 種の自然分布域における交雑要因の解明
岡山理科大学 生物地球学部 准教授 武山 智博 350 千円
- 34 交通障害を引き起こす突発的な濃霧の予測可能性
岡山理科大学 生物地球学部 教授 大橋 唯太 350 千円
- 35 ウシの乳汁中上皮細胞解析で明らかにする泌乳量と乳腺分化の関係
岡山理科大学 獣医学部 講師 佐伯 亘平 300 千円
- 36 認知症原因タンパク質プログレニンによるオートリソソーム形成制御機構の解明
岡山理科大学 獣医学部 助教 田中 良法 300 千円
- 37 自然由来メゾスコピック構造体を用いた神経変性疾患関連因子の分解技術の開発
岡山理科大学 獣医学部 准教授 作道 章一 300 千円
- 38 恐竜から鳥類への社会的行動進化の解明ー新しい 3 D 技術を用いた大量の足跡化石解析に基づく研究ー
岡山理科大学 研究・社会連携機構 特担教授 石垣 忍 330 千円
- 39 ビスシリル置換ピリジンの白金錯体触媒反応
倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 仲 章伸 250 千円
- 40 ママカリの資源回復と食文化の保護・継承のための分子遺伝学的研究
倉敷芸術科学大学 生命科学部 准教授 山野 ひとみ 350 千円

- | | | |
|----|--|--------|
| 41 | 内向き整流性 K ⁺ チャネル遮断ペプチドの探索と作用の解明：抗うつ作用の機序の解明
倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 岡田 誠剛 | 250 千円 |
| 42 | スポーツ現場で筋音図・筋電図をコンディショニングに活用する
倉敷芸術科学大学 生命科学部 准教授 枝松 千尋 | 350 千円 |
| 43 | 避難行動促進におけるメカニズムの解明－生理心理学的アプローチを用いて－【特定研究分野 A】
吉備国際大学 心理学部 准教授 橋本 翠 | 580 千円 |
| 44 | 熱分解によるチタン製造プロセスの中間生成物（硫化チタン）製造方法の研究
津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 関 一郎 | 340 千円 |
| 45 | 双方向可変剛性機構によるロボット義足に関する研究
津山工業高等専門学校 総合理工学科 講師 野中 摂護 | 400 千円 |
| 46 | 放線菌における Sec 系分泌促進因子の探索
岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 流動研究員 楊 靈麗 | 220 千円 |
| 47 | 日本の伝統食材サトイモを疫病から守る！RNAseq による防御マーカーの作製と免疫力の向上による防除技術の開発
岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 流動研究員 鳴坂 真理 | 220 千円 |
| 48 | ナス病原性に重要な青枯病菌エフェクターの同定と耐病性母本選抜
岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 向原 隆文 | 220 千円 |
| 49 | 多様な白花モモが生まれた遺伝的要因の解明
岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 小田 賢司 | 200 千円 |
| 50 | DAMPs ネットワークによる炎症性疾患の制御メカニズムの解明
就実大学 薬学部 講師 渡邊 政博 | 150 千円 |
| 51 | 米由来ペプチドの神経毒性軽減効果の検討
就実大学 薬学部 教授 守谷 智恵 | 150 千円 |
| 52 | 体力科学的観点から考える岡山県内「防災教育」ガイドラインの提案【特定研究分野 A】
就実大学 教育学部 准教授 飯田 智行 | 200 千円 |
| 53 | 中高齢者のフレイル予防に資する身体活動条件の解明～心疾患患者を対象とした縦断研究～
就実大学 教育学部 講師 森村 和浩 | 350 千円 |
| 54 | サルコペニアを対象とする健康寿命延伸薬の開発
川崎医科大学 神経内科学 教授 砂田 芳秀 | 800 千円 |
| 55 | 脾臓の形成過程における核内受容体 NR5A1 の機能解明
川崎医科大学 解剖学教室 教授 嶋 雄一 | 500 千円 |
| 56 | 抗肺線維化分子としての脂質メディエーター分解酵素の発生工学的研究
川崎医科大学 薬理学 教授 岡本 安雄 | 300 千円 |
| 57 | 慢性炎症と骨細胞様細胞が血管石灰化を誘導する機序の解明、及びその進展抑制法の開発
川崎医科大学 リウマチ・膠原病学 臨床助教 浅野 澄恵 | 200 千円 |
| 58 | 海馬神経回路のシナプス形成を制御する分子機構の解明
川崎医科大学 解剖学 准教授 林 周一 | 200 千円 |
| 59 | 嗅覚障害の観点から考察する嗅覚調整機能
川崎医療福祉大学 臨床検査学科 教授 清蔭 恵美 | 150 千円 |
| 60 | 運動の降圧機序に対するアセチルコリン分泌型 T リンパ球の関与ならびに乳酸による相乗効果の検討
川崎医療福祉大学 健康体育学科 助教 山形 高司 | 150 千円 |
| 61 | 岡山県の医療機関における DPC データを用いた ICD コーディングの精度検証－肺炎の詳細不明コードの場合－
川崎医療福祉大学 医療情報学科 助教 樫村 菜穂 | 150 千円 |
| 62 | 岡山県の 2 次医療圏にもとづく MDC 別患者の要介護度分析
川崎医療福祉大学 医療情報学科 助教 大井 悠成 | 150 千円 |
| 63 | 肥満に伴う腸内細菌叢の変動は骨格筋の慢性炎症を決定する要因か？
川崎医療福祉大学 健康体育学科 助教 川島 将人 | 150 千円 |
| 64 | 災害予防法制における地域「指定」の研究【特定研究分野 A】
山陽学園大学 地域マネジメント学部 准教授 澤 俊晴 | 100 千円 |

- | | | |
|----|---|----------|
| 65 | 保育士のキャリア・パースペクティブマップの作成と離職防止介入策の考案 [※その他分野]
山陽学園大学 総合人間学部 准教授 松浦 美晴 | 200 千円 |
| 66 | タカキビプロシアニジンと澱粉との加熱調理に伴うアミロース消化の低下
山陽学園短期大学 健康栄養学科 教授 廣田 幸子 | 400 千円 |
| 67 | キンダートーネン（子供体操）運動学習効果の科学的検証および SECI モデルによるナレッジ・
マネジメント導入に関する研究 [※その他分野]
中国学園大学 国際教養学部 准教授 佐々木 公之 | 400 千円 |
| 68 | QGIS を用いた小田川上流地域の空間データ分析【特定研究分野 A】
中国学園大学 情報ビジネス科 講師 藤本 宏美 | 490 千円 |
| 69 | 「速く走る」走り方指導法の開発
環太平洋大学 体育学部 講師 梶谷 亮輔 | 350 千円 |
| 70 | 女性アスリートの月経随伴症状を含むコンディショニングの実態調査～若年層から始まる女性アスリート
のための健康教育構築に向けて～
環太平洋大学 体育学部 准教授 前川 真姫 | 400 千円 |
| 71 | 終末期維持血液透析患者の医療・ケア方針の検討に関わる看護実践に関する研究
新見公立大学 健康科学部 助教 安藤 亮 | 450 千円 |
| 72 | 大原美術館所蔵の油彩作品を対象とした光学調査を基にした研究【特定研究分野 B】
公益財団法人大原美術館 学芸課 学芸統括 柳沢 秀行 | 1,000 千円 |
| 73 | 斜面崩壊の規模を予測するための崩壊土砂層厚の分布調査手法に関する研究【特定研究分野 A】
統合物性モデル技術研究組合 理事長 西垣 誠 | 1,000 千円 |

(2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、令和 3 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、1 名の応募があり、選考委員会において、1 名の研究者に対して 30 万円の助成を行うことを決定しました。

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 国際ワークショップ参加、交際共同研究打合せ他
岡山大学大学院 自然科学研究科 准教授 坂本 浩隆 | 300 千円 |
|---|---|--------|

(3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、令和 2 年 9 月 15 日から 10 月 31 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、2 名の応募があり、選考委員会において、以下の 1 名の研究者に対して助成を行うことを決定し、90 万円の助成を実施しました。

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 乾癬性関節炎患者の治療反応性を予測する新たなリンパ球細胞群の役割
岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 医員 山村 裕理子 | 900 千円 |
|---|---|--------|

2. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

令和3年度は、10件の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の2名に決定しました。

金 秉洙（岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授）

【研究題目】 「疎水性キャピラリーバリアを持った河川堤防の安全性に関する研究」
：平成29～30年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

川野 光興（中国学園大学 現代生活学部 准教授）

【研究題目】 「カルバペネム耐性細菌の駆除を目指したファージ療法の開発」
：平成30年度～令和元年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

令和3年度優秀研究者賞受賞者には、表彰状と副賞（研究奨励金30万円）が贈呈されます。

また、令和3年度の事業費として実施された「令和2年度優秀研究者表彰事業」は、2名の受賞者に対して表彰状と副賞を贈呈し、656千円を支出しました。

3. 研究者交流事業

定款第4条第1項第6号に掲げる事業は、次のとおり総額632千円を実施しました。

(1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、優秀研究者表彰式開催後と研究発表会開催後に開催されますが、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み中止としました。

(2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み中止としました。

(3) 事業報告書の作成

令和3年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書110部を作成し、当財団の関係者、令和3年度研究費助成を受けた研究者、県立図書館等へ配布します。尚、この事業報告書の作成費は令和4年度予算により実施されます。

また、令和3年度の事業費として実施された「令和2年度事業報告書」作成費は、632千円となります。

4. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

理 事

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	中国学園大学 学長	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 名誉教授	
理 事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山商科大学 特別顧問	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
常務理事	山室 正人	非常勤	無	株式会社ウエスコ 取締役業務推進本部長	

監 事

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士事務所	
監 事	中村 洋文	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部 経理課長	

評 議 員

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役会長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	中国職業能力開発大学校 校長	
評議員	高橋 吉孝	非常勤	無	岡山県立大学 副学長	
評議員	原田 育秀	非常勤	無	株式会社中国銀行 代表取締役専務	
評議員	北村 彰秀	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	

(2) 職員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	本間 誠之	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	

(3) 役員会等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	令和 3 年 5 月 10 日	・ 第 1 回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第2回	令和 3 年 6 月 3 日	・ 令和 2 年度事業報告及び付属明細書の承認の件 ・ 令和 2 年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・ 第 2 回評議員会開催の件 ・ 選考委員 9 名選任の件 ・ 銀行借入額決定の件 ・ 令和 3 年度助成者決定の報告の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面により報告した 書面により報告した
第3回	令和 3 年 6 月 25 日	・ 理事長及び常務理事選定の件	書面で同意を得た
第4回	令和 3 年 10 月 18 日	・ 株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	書面で同意を得た
第5回	令和 3 年 12 月 6 日	・ 第 3 回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第6回	令和 4 年 1 月 27 日	・ 令和 4 年度事業計画承認の件 ・ 令和 4 年度収支予算承認の件 ・ 特定資産取崩しの件 ・ 銀行借入の件 ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面により報告した
第7回	令和 4 年 3 月 17 日	・ 第 4 回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第8回	令和 4 年 3 月 31 日	・ 常務理事選定の件	書面で同意を得た

②評議員会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	令和 3 年 6 月 3 日	・ 理事会第 1 号議案「令和 2 年度事業報告及び付属明細書報告の件」 ・ 理事会第 2 号議案「令和 2 年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件」 ・ 銀行借入額決定の件 ・ 令和 3 年度助成者決定の報告の件	書面により報告した 書面により報告した 書面により報告した 書面により報告した
第2回	令和 3 年 6 月 18 日	・ 令和 2 年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・ 評議員 6 名の選任の件 ・ 評議員長選定の件 ・ 理事 6 名の選任の件 ・ 監事 2 名の選任の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た
第3回	令和 4 年 1 月 27 日	・ 令和 2 年度事業計画承認の件 ・ 令和 2 年度収支予算承認の件 ・ 特定資産取崩しの件 ・ 銀行借入の件 ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面により報告した
第4回	令和 4 年 3 月 24 日	・ 理事 1 名選任の件	書面で同意を得た

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄附金に関する事項

該当なし

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

5. 事業報告書の附属明細書

令和4年3月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の附属明細書に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

令和4年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (R4/3/31)	前 年 度 (R3/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,703,388	4,656,108	1,047,280
流動資産合計	5,703,388	4,656,108	1,047,280
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	952,327,000	934,621,000	17,706,000
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	972,327,000	954,621,000	17,706,000
(2)特定資産			
公益目的事業積立預金	17,500,000	12,000,000	5,500,000
特定資産合計	17,500,000	12,000,000	5,500,000
(3)その他固定資産			
什器備品	26,209	69,889	△ 43,680
その他固定資産合計	26,209	69,889	△ 43,680
固定資産合計	989,853,209	966,690,889	23,162,320
資産合計	995,556,597	971,346,997	24,209,600
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	101,796	91,300	10,496
流動負債合計	101,796	91,300	10,496
負債合計	101,796	91,300	10,496
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	922,000,000	904,000,000	18,000,000
投資有価証券	30,327,000	30,621,000	△ 294,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産運用益	17,500,000	12,000,000	5,500,000
指定正味財産合計	989,827,000	966,621,000	23,206,000
(うち基本財産への充当額)	972,327,000	954,621,000	17,706,000
(うち特定資産への充当額)	17,500,000	12,000,000	5,500,000
2. 一般正味財産	5,627,801	4,634,697	993,104
正味財産合計	995,454,801	971,255,697	24,199,104
負債及び正味財産合計	995,556,597	971,346,997	24,209,600

正味財産増減計算書

令和3年4月1日 から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (R3.4.1-R4.3.31)	昨年度 (R2.4.1-R3.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	609,000	609,000	0
基本財産受取利息	376	318	58
基本財産運用益取崩額	12,000,000	8,312,975	
基本財産受取配当金振替額	11,306,400	18,000,000	△ 6,693,600
基本財産運用益計	23,915,776	26,922,293	△ 3,006,517
②受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金計	0	0	0
③雑収益			
事業費返金	250,000	0	250,000
有価証券品貸料	5,099,700	0	5,099,700
受取利息	0	0	0
雑収益計	5,349,700	0	5,349,700
経常収益計	29,265,476	26,922,293	2,343,183
(2)経常費用			
①事業費			
支払助成金	26,000,000	25,450,000	550,000
表彰事業	656,100	679,200	△ 23,100
印刷費	631,676	709,709	△ 78,033
消耗品費	54,174	128,927	△ 74,753
通信費	136,410	174,272	△ 37,862
事務委託費	384,000	384,000	0
家賃	96,000	96,000	0
減価償却費	41,496	110,657	△ 69,161
事業費計	27,999,856	27,732,765	267,091
②管理費			
会議費	44,820	39,300	5,520
消耗品費	0	6,722	△ 6,722
事務手数料	57,995	40,666	17,329
旅費交通費	4,100	1,950	2,150
通信費	11,417	0	11,417
租税公課	480	1,080	△ 600
事務委託費	96,000	96,000	0
家賃	24,000	24,000	0
減価償却費	2,184	5,824	△ 3,640
支払利息	31,520	31,770	△ 250
管理費計	272,516	247,312	25,204
経常費用計	28,272,372	27,980,077	292,295
当期経常増減額	993,104	△ 1,057,784	2,050,888
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	993,104	△ 1,057,784	2,050,888
当期一般正味財産増減額	993,104	△ 1,057,784	2,050,888
一般正味財産期首残高	4,634,697	5,692,481	△ 1,057,784
一般正味財産期末残高	5,627,801	4,634,697	993,104
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	17,706,000	272,637,000	△ 254,931,000
基本財産評価損	0	0	0
基本財産受取配当金	28,806,400	30,000,000	△ 1,193,600
一般正味財産への振替額	△ 23,306,400	△ 26,312,975	3,006,575
当期指定正味財産増減額	23,206,000	276,324,025	△ 253,118,025
指定正味財産期首残高	966,621,000	690,296,975	276,324,025
指定正味財産期末残高	989,827,000	966,621,000	23,206,000
III 正味財産期末残高	995,454,801	971,255,697	24,199,104

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日 から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和3年度(R3.4.1-R4.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	578,550	30,450		609,000
基本財産受取利息	376	0		376
基本財産運用益取崩額	12,000,000	0		12,000,000
基本財産受取配当金振替額	9,866,080	1,440,320		11,306,400
基本財産運用益計	22,445,006	1,470,770		23,915,776
② 受取寄附金				
受取寄附金	0	0		0
受取寄附金計	0	0		0
③ 雑収益				
事業費返金	250,000	0		250,000
有価証券品貸料	5,099,700	0		5,099,700
雑収益計	5,349,700	0		5,349,700
経常収益計	27,794,706	1,470,770		29,265,476
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	26,000,000			26,000,000
表彰事業	656,100			656,100
印刷費	631,676			631,676
消耗品費	54,174			54,174
通信費	136,410			136,410
事務委託費	384,000			384,000
家賃	96,000			96,000
減価償却費	41,496			41,496
事業費計	27,999,856	0		27,999,856
② 管理費				0
会議費		44,820		44,820
消耗品費		0		0
事務手数料		57,995		57,995
旅費交通費		4,100		4,100
通信費		11,417		11,417
租税公課		480		480
事務委託費		96,000		96,000
家賃		24,000		24,000
減価償却費		2,184		2,184
支払利息		31,520		31,520
管理費計	0	272,516		272,516
経常費用計	27,999,856	272,516		28,272,372
当期経常増減額	△ 205,150	1,198,254		993,104
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替額	4,000,000	△ 4,000,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	3,794,850	△ 2,801,746		993,104
当期一般正味財産増減額	3,794,850	△ 2,801,746		993,104
一般正味財産期首残高	405,461	4,229,236		4,634,697
一般正味財産期末残高	4,200,311	1,427,490		5,627,801
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産評価益	16,820,700	885,300		17,706,000
基本財産評価損	0	0		0
基本財産受取配当金	27,366,080	1,440,320		28,806,400
一般正味財産への振替額	△ 21,866,080	△ 1,440,320		△ 23,306,400
当期指定正味財産増減額	22,320,700	885,300		23,206,000
指定正味財産期首残高	918,870,975	47,750,025		966,621,000
指定正味財産期末残高	941,191,675	48,635,325		989,827,000
III 正味財産期末残高	945,391,986	50,062,815		995,454,801

財務諸表に対する注記

令和3年4月1日 から令和4年3月31日まで

1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

定率法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	934,621,000	17,706,000	0	952,327,000
小 計	954,621,000	17,706,000	0	972,327,000
特定資産				
公益目的事業積立預金	12,000,000	17,500,000	12,000,000	17,500,000
小 計	12,000,000	17,500,000	12,000,000	17,500,000
合 計	966,621,000	35,206,000	12,000,000	989,827,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価損益）と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	952,327,000	952,327,000	0	0
小 計	972,327,000	972,327,000	0	0
特定資産				
公益目的事業積立預金	17,500,000	17,500,000	0	0
小 計	17,500,000	17,500,000	0	0
合 計	989,827,000	989,827,000	0	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
PC一式	208,041	181,832	26,209
合 計	208,041	181,832	26,209

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益取崩額へ充当	12,000,000
基本財産受取配当金振替額へ充当	9,866,080
管理費充当額	1,440,320
合 計	23,306,400

7. その他

該当はありません。

財産目録

令和4年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産	現金預金	普通預金 山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	24
		普通預金 中国銀行/奉還町支店	"	2,308,813
		普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	"	3,394,551
	現金預金合計	5,703,388		
流動資産合計				5,703,388
2.固定資産				
基本財産	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。	30,327,000
	普通預金	中国銀行/奉還町支店		20,000,000
	投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結		922,000,000
	基本財産合計		972,327,000	
特定資産	公益目的事業積立預金	普通預金 中国銀行/奉還町支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	17,500,000
その他固定資産	什器備品	PC一式	共有財産であり、減価償却費の95%を事業の費用とし、残り5%は管理費の費用として使用している。	26,209
固定資産合計				989,853,209
資産合計				995,556,597
1. 流動負債	未払金	株式会社357に対する未払額	2021年ホームページ更新代未払い分として	101,796
流動負債合計				101,796
負債合計				101,796
正味財産				995,454,801